

# ～年頭のご挨拶～

# 組合からの発信



大阪木材工場団地協同組合  
理事長 堀川 昇

新年明けましておめでとうございます。令和5年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

平素は、大阪木材工場団地協同組合の事業運営に対してご支援とご協力を賜り心よりお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、東欧に端を発する軍事不安は国際社会に与えた影響は大きく、世界中で資源不足やエネルギー価格の高騰をもたらしたほか、ひいては為替市場における歴史的な円安の進行にもつながり、大きなダメージを受けた企業も多かったのではないかと推察されます。

また、木材団地においては、特に集中豪雨が例年にも増して発生していた感が強く、木材団地内の雨水排水対策の改善が急がれる中で、現在堺市と協議を進めております調整池の課題解決に向けた取り組みについて、一層のスピード感と危機感をもって進めてまいりたいと考えております。

本年につきましても、感染症の先行きは予断を許さないものの、「Withコロナ」時代の中で、各企業におかれましては、事業活動を通じて、円滑な社会活動の継続をお願いさせて頂き、協同組合としては、各種事業等を通じてその側面支援を図ってまいります。

さて、当協同組合では、本年も創立60周年を記念した各種事業の企画と実施を感染症に配慮しながら行っていく予定にしておりますが、皆様のご理解・ご協力を賜り、多くの方々の事業参加により、この記念



堺市長 永藤 英機

あけましておめでとうございます。大阪木材工場団地協同組合の皆様におかれましては、清々しい新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

また、堺市内陸部の重要な産業集積地として、本市産業の発展に大いに貢献いただいておりますことに深く感謝します。

貴組合は、昭和37年の設立以来、木材関連を中心に様々な企業が集積した工場団地として発展され、この間、社会の変化に応じた課題に向き合ってこられました。災害対策の重要性が高まる昨今においては、BCP計画を定期的に更新し、昨

年5月には国の「事業継続力強化計画」の認定を受け、6月には堺市総合防災センターを「ご見学いただくなど活発に防災・減災事業を実施し「災害に強い団地」の実現に取り組まれています。

災害に強い都市をめざす本市にとって貴組合の取組は意義深く、堀川理事長をはじめ歴代役員並びに組合員の皆様のご尽力に敬意を表します。

堺市では、市政運営の大方針である「堺市基本計画2025」において「人や企業を惹きつける都市魅力」を重点戦略に掲げ、中小企業による新事業の創出や新たな交通システムの導入などに取り組んでいます。その中で、美原区域においては広域アクセスを活かし、企業進出や投資促進、幹線道路沿いの企業誘致によって産業集積を図ることとしてまいります。

昨年は、4月に堺市総合防災セン

期間を皆様と共に、「強い絆」をつくり、次に「つなぐ」機会としたいと考えておりますので、よろしくお願致します。

皆様方におかれましては、引き続き協同組合並びに美原団地協議会の運営にご理解とご協力をいただくようお願い申し上げます。

結びとして、皆様方のご健康とご多幸を心から祈念いたしました。年頭のご挨拶とさせていただきます。



ター、11月に大型商業施設がオープンしました。さらに10月から12月にかけて堺都心部と美原区を結ぶ「SMI（堺・モビリティ・イノベーション）美原ライン」の実証実験として急行バスを運行しました。

本年も美原エリアの活性化に取り組む所存ですので、皆様には一層のお力添えをいただけますと幸いです。

結びにあたり、大阪木材工場団地協同組合の益々のご発展と、本年が組合員の皆様にとりまして健康で幸多き一年となりますよう祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

